

年 月 日

小松市結婚新生活支援補助金 交付申請書兼実績報告書 1/3

(あて先)小松市長

申請者 住所 小松市

(ふりがな)

氏名

印

電話

自署の場合は押印不要です

小松市結婚新生活支援補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて次のとおり申請します。

| | | | |
|---|---|-------------------------|-------|
| 奨励金交付認定に必要な税関係情報の記録, 住民記録および他制度との併願申請等を市長が調査することに同意します。 | | | |
| 1 婚姻日 | 年 月 日 | | |
| 2 所得 ※1 | 円 < 4,000,000円 | | |
| 3 事業内訳 | 住居費 (新築・購入) | 契約締結年月日 | 年 月 日 |
| | | 契約金額(A) | 円 |
| | 住居費 (リフォーム) | 契約締結年月日 | 年 月 日 |
| | | 契約金額(A) | 円 |
| | 住居費 (賃貸) | 契約締結年月日 | 年 月 日 |
| | | 入居時諸費用(B)※2 | 円 |
| | | 住居手当(C) | 円 |
| | 引越し | 実質家賃負担額(D) (B) - (C) | 円 |
| | | 引越しを行った日 | 年 月 日 |
| | 合計 (A+D+E) | 費用(E) | 円 |
| | | 円 | |
| 4 助成期間 ※今回助成を申請する期間 | | | |
| 5 公的制度による家賃補助 | 年 月から 年 月まで _____ 月分 | | |
| 6 添付書類 | <input type="checkbox"/> 戸籍謄本(婚姻を証明する書類) <input type="checkbox"/> 住民票(夫婦共※新しい住居地でのもの) <input type="checkbox"/> 所得証明書 <input type="checkbox"/> 奨学金返還額証明書 (当該奨学金の貸与を受けている場合) <input type="checkbox"/> 離職証明書(離職し現在無職の場合) <input type="checkbox"/> 納税証明書(前年度分, 又は完納証明書も可) <input type="checkbox"/> 物件の売買契約書の写し及び領収書(住居費における購入の場合) <input type="checkbox"/> 新築物件の請負契約書の写し及び領収書(住居費における建築の場合) <input type="checkbox"/> リフォームの請負契約書の写し及び領収書(住居費におけるリフォームの場合) <input type="checkbox"/> 物件の賃貸借契約書及び賃貸借見積書の写し (住居費における賃借の場合) <input type="checkbox"/> 住宅手当支給証明書(様式第2号)(住居費における賃借の場合) <input type="checkbox"/> 住居費及び引越費用に係る領収書 <input type="checkbox"/> 結婚新生活支援補助金に係わる覚書 <input type="checkbox"/> その他 () | | |

※1 世帯(夫婦)の所得を合算し要綱による算出方法により計算したもの。

※2 入居時諸費用とは賃料、敷金、礼金(保証金などこれに類する費用を含む。)、共益費、仲介手数料をいう。

注1 領収書とは領収書に代わる振込みの証明でも可とする。

小松市結婚新生活支援補助金制度利用チェックリスト

1. 交付申請書1/3 6の添付書類は揃っていますか。
はい
いいえ→必要書類を揃えてから提出してください。
2. 夫婦の所得は400万円未満ですか。
はい
いいえ→もうしわけありませんが、交付申請対象外となります。
3. 夫婦とも39歳以下ですか。
はい
いいえ→もうしわけありませんが、交付申請対象外となります。
4. 住居は小松市内ですか。
はい
いいえ→もうしわけありませんが、交付申請対象外となります。
5. 令和2年度以前に夫婦のうちいずれかが本補助金を受けたことがありますか。
はい→もうしわけありませんが、交付申請対象外となります。
いいえ
6. 令和3年度に夫婦で本補助金を受け、限度額(30万円)まで受給しましたか。
はい→もうしわけありませんが、交付申請対象外となります。
いいえ
7. 市税(前市外住所地含む。)の滞納がありませんか。
ある→もうしわけありませんが、交付申請対象外となります。
ない
8. 他の公的補助による家賃補助等(定住促進制度を含む。)を受けていますか。
また、併用していますか。
はい→もうしわけありませんが、交付申請対象外となります。
いいえ
9. 公営住宅(市営住宅、県営住宅等)に入居しますか。
はい→もうしわけありませんが、交付申請対象外となります。
いいえ
10. 夫婦のうちいずれかが結婚にともない離職し、現在無職ですか。
はい→離職証明書を添付しその方の分は所得なしとしてください。
いいえ
11. 夫婦いずれかが貸与型奨学金(公的団体または民間団体より、学生の就学や生活のために貸与された資金)の返済を現在行っていますか。
はい→所得証明書の所得金額から貸与型奨学金の年間返済額を控除した額
(0を下回る場合は0とする。)を所得欄に記入してください。
※年間返済額は所得課税証明書と同一期間(R3年度であればR3.1.1～12.31)となります。
いいえ
12. 婚姻が受理された日から6か月以内の申請ですか。
はい
いいえ→もうしわけありませんが、交付申請対象外となります。

小松市結婚新生活支援補助金制度利用にあたり下記アンケートにご協力ください。

全員にお尋ねします

1. 制度について

今回利用しようとしている制度は何で知りましたか

- 業者紹介(業者名:)
- 広報こまつ
- 小松市ホームページ
- 新聞
- その他()

2. 住居地を選んだ理由について

※判断の重点度の高い順に上位3つまでお答えください

| 1位 | 2位 | 3位 |
|----|----|----|
| | | |

- 1. 親の家が近くにあるから
- 2. 出身地だから
- 3. 勤務先に近いから
- 4. 自然が豊かだから
- 5. 医療施設が充実しているから
- 6. 公共料金が安いから
- 7. 交通の便が良いから
- 8. 立地条件が良かったから
- 9. その他 ()

3. お仕事について

※申請者もしくは世帯主のかた

| | |
|----------|--|
| 勤務先(会社名) | |
| 勤務先(所在地) | |

市外から転入された方にお尋ねします

4. 小松市に住居地を決めた理由について

※判断の重点度の高い順に上位3つまでお答えください

| 1位 | 2位 | 3位 |
|----|----|----|
| | | |

- 1. 勤務先が小松市にあるから
- 2. 親が小松市に住んでいるから
- 3. 子供の教育環境を考えて
- 4. 空港が近いから
- 5. 自然災害が少ないから
- 6. 土地が安く通勤にも便利だから
- 7. 定住促進等の補助金が充実しているから
- 8. 小松市が好きだから
- 9. 小松市が好きだから

小松市結婚新生活支援補助金 住居手当支給証明書

(あて先)小松市長

給与等の支払者

所在地

名称

氏名

印

電話

下記の者の住宅手当支給状況を次のとおり証明します。

記

1 対象者

| | |
|----|--|
| 住所 | |
| 氏名 | |

2 住宅手当支給状況

(1) 支給している。

(2) 支給していない。

(

年 月現在

住宅手当 月額 円

)

注意事項

- 1 住宅手当とは、住宅に関して事業主が従業員に対し支給又は負担する全ての手当等の月額です。
- 2 住宅手当支給状況については、(1)、(2)のいずれかに○印をつけてください。
- 3 住宅手当を支給している場合は、直近の住宅手当月額を記入してください。
- 4 法人の場合は社印を、個人事業主の場合は代表者印を押印してください。

小松市結婚新生活支援補助金交付請求書

(あて先)小松市長

申請者 住所

氏名

印

電話

年 月 日付け小松市指令第 号 で確定通知のあった小松市結婚新生活支援補助金について、小松市結婚新生活支援補助金交付要綱第8条の規定により、下記の金額を請求します。

記

請求額 金 _____ 円

| | | | |
|-----|-------|--------------|-----------|
| 口座 | 金融機関名 | (銀行、信用金庫等) | (支店、営業所名) |
| | 預金種目 | 1普通 2当座 9その他 | |
| 振替先 | 口座番号 | | |
| | フリガナ | | |
| | 口座名義 | | |

(別紙)

小松市結婚新生活支援補助金に係わる覚書

(あて先) 小松市長

私儀、今般、小松市結婚新生活支援補助金制度の利用にあたり、町内コミュニティ組織の形成の促進のため、地域における安全で安心な住みよいまちづくりに関する活動に対して、既存のコミュニティ組織に加わることを約束します。また、契約の変更や解約を行う場合は、事前に届け出る事を約束します。

当該住居に3年以上居住することを約束します。

年 月 日

申請者 住所

氏名

印

電話